

平成28年度前期(第44期)教育研究員入所式

○平成28年4月5日、平成28年度前期(第44期)教育研究員の入所式が挙行されました。6ヶ月間から1年間、各自の研究テーマのもと、研究を進めていきます。沖縄県教育庁島尻教育事務所宮城末義所長、南部広域行政組合上原武教育長をはじめ、多くの来賓の方々の激励を受け、緊張の中、決意を新たにした教育研究員の皆さんでした。

【H28 前期教育研究員】

研究員	所属校	領域
1 崎濱 貴子	渡嘉敷村立渡嘉敷幼稚園	幼稚園教育
2 上原 司	糸満市立兼城小学校	小学校体育
3 久保田力也	南城市立佐敷小学校	小学校道徳
4 山城 昌義	八重瀬町立白川小学校	小学校国語
5 下地 秀隆	糸満市立西崎中学校	中学校体育
6 船附 洋美	南城市立玉城中学校	教育相談

4月の主な行事

- 1日 辞令交付式  
オリエンテーション①②
- 4日 オリエンテーション③④
- 5日 島尻教育事務所あいさつ  
前期入所式 指導講師委嘱状  
交付式 指導講師連絡会
- 6日 ヒアリング①
- 7日 クラブ書道①
- 12日 ヒアリング②
- 13日 局長・主幹兼係長講話
- 14日 所長講話①
- 21日 ヒアリング③
- 25日 指導講師検討会①(～27日)



入所あいさつ



式終了後ご参列の皆様と記念撮影

各研究員の入所あいさつ

一年間離島研修員として「好き嫌いなく、何でも食べる子を育てるための環境構成と援助の工夫」について学びたいと思います。このような研修の機会をいただき感謝申し上げます。(渡嘉敷幼稚園 崎濱貴子)

「系統的な体育科学習の授業改善」をテーマに小学校体育の領域で研究をさせていただきます。「日々成長」という強い思いをもって積極的に研修に励みたいと思います。(兼城小学校 上原司)

「道徳指導者研修会」を期に小学校道徳についてさらに研修を深めたいと申し込みました。「児童の心に響かせ一人一人が自分自身を本音で振り返ることができる授業づくり」目指します。(佐敷小学校 久保田力也)

ただ楽しいだけでなく、子どもたちに学習内容の定着を図るために「できる喜び、わかる喜び」を感じさせながら、国語科で主体的に読む能力を身につけることで、自ら学習に取り組む児童を育てたいと思います。(白川小学校 山城昌義)

次期学習指導要領で主体的・能動的・協働的に学ぶ指導方法が取り上げられ、生徒が主体的に考える事が求められています。体育学習を通して成就感や達成感等を味わわせる指導方法を研究していきます。(西崎中学校 下地秀隆)

一人一人の声に耳を傾け、一人一人に合った支援ができるよう子どもたちに寄り添って活動し、子どもたちの夢が実現できるように自己研鑽に励んでいきます。(玉城中学校 船附洋美)

## 【教育研究員の感想】（研修日誌から）

入所式で上原雅志所長はじめ、上原武教育長、宮城末義所長から激励のお言葉を頂き、いよいよ研究員としてスタートするのだなと身が引き締まる思いでした。その後、大城美恵子指導主事に日誌の書き方や、研究テーマの検討、食育に関する資料を見ながら、離島ならではの研究について教えて頂きました。幼稚園勤務3年の私に務まるのかなと不安もありますが、所長はじめ、主事の先生方や研究員の先生方と助け合いながら研究を進めていこうと思いました。  
(渡嘉敷幼稚園 崎濱貴子)

島尻教育事務所での挨拶は宮城所長をはじめ多くの先生方の前で緊張し、うまく自己表現できたか心配ですが無事終了したのでひと安心できました。

午後の入所式では教育事務所長、糸満市教育委員会、屋良朝俊校長先生と私を研究所へ推薦して下さった方々の前であいさつをすることで、今後の研究活動に気を引き締めることができました。宮城末義教育事務所長、上原武南部広域行政組合教育長、上原雅志研究所長の挨拶を聞くことで、44期前期研究員として自覚と責任を感じ、これからの研究や研修に励んでいきたいと気持ちを新たにしました。

入所式終了後からは、本格的に教育研究がスタートし、研究計画や授業づくり、理論研究といった研修を行っていき自身のスキルアップにつなげていきます。  
(兼城小学校 上原 司)

午後は、入所式がありました。教育事務所の宮城末義所長や上原武教育長、教育研究所の上原雅志所長からあいさつを頂き、身が引き締まる思いがしました。上原武教育長のお話では、指導講師の先生向けでしたが、「薫習(くんじゅう)物に香りが染みつくように、人々の精神・身体のすべての行為が人間の心の最深部に影響を与えること。」や「何事も基礎、基本がしっかりしないと成り立たない。」という言葉が心に残りました。私も今回の研修でしっかりと人間性を高め、児童に良い影響を与えられるような教師になりたいと思います。そして今回、研修の機会を与えて下さった多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、新たな気持ちで研修に励みたいと思います。  
(佐敷小学校 久保田力也)

今日は出勤3日目ではありますが、ついに入所式がありました。まずは、朝9時から島尻教育事務所への挨拶がありましたが、そこでも個人の挨拶がありました。そんなに人数は多くないけれど、短い挨拶ではあるけれど、いざ、挨拶となると凄く緊張しました。そして、入所式での挨拶は練習したお陰で嘸まずに、落ち着いて挨拶することが出来ました。ただ、考えてみると、指導主事の先生方や事務所の先生方は、普段から原稿がなくても急に話を振られても、すぐにお話をされます。ここにいる間に自分も力を身につけます。

本日「わたしが出会えた言葉」と、そこから考えたこと。

「薫習(くんじゅう)」(上原武 糸満市教育長の言葉より)

「薫習」は仏語で「香の薫りが衣服に染み付くように、習慣として修行を繰り返すこと」を指す。

10年前、初任研の頃に道徳主任として道徳研に参加した当時の事務所担当者が宮城末義先生で、その時「道徳という教科は、今すぐという即効性はなくても、10年後20年後という時間を見据えて指導していかなければならない」というお話をされていました。表面的にだけでなく、しっかりと深層まで深く刻み込まれていくような道徳的指導を行うようにしていきたいです。  
(白川小学校 山城昌義)

今日は、早朝から島尻教育事務所へ入所のあいさつに伺いました。そこで、宮城末義所長より激励を受けました。「今後の島尻教育の担い手として、日々研修に当たってほしい」との言葉に、気を引き締めることができました。指導主事の先生方との顔合わせもさせて頂き感謝しています。

午後は、入所式の会場設営とリハーサルを行いました。入所式本番では、入場から緊張しました。自分の考えを話すことで責任を感じました。宮城末義島尻教育事務所長、上原武南部広域行政組合教育委員会教育長から「自己の研修と修養に努めて欲しい」との激励がありました。指導講師との打合せでは、宮城調仁指導講師から「研究の進め方」を指導して頂きました。今後は、この指導を重く受け止め、日々研修と修養に努めていきたいと思います。  
(西崎中学校 下地秀隆)